

シューベルト：ピアノ三重奏曲第1番 変ロ長調 D898 [周防/笹沼/兼重]
Schubert: Trio für Klavier, Violine und Violoncello Nr.1 B-Dur D898 (1827or28?)

TOPPAN HALL

2023/24 SEASON



シューベルト：弦楽四重奏曲第14番 ニ短調 D810 《死と乙女》 [クアルテット・インテグラ]
Schubert: Streichquartett Nr.14 d-Moll D810 "Der Tod und das Mädchen" (1824)

ベルク：弦楽四重奏曲 Op.3 [クアルテット・インテグラ]
Berg: Streichquartett Op.3 (1910)

ブラームス：3つの間奏曲 Op.117 [兼重]
Brahms: Drei Intermezzi Op.117 (1892)

シェーンベルク：浄められた夜 Op.4 [周防/小川/中/田原/笹沼/佐山]
Schönberg: "Verklärte Nacht" für 2 Violinen, 2 Violen und 2 Violoncelli Op.4 (1899)

室内楽の奥義を極める
一夜限りの宴！

世紀末ウィーンへ
シューベルトから

クアルテット・インテグラ

vn 三澤 響果
vn 菊野 凜太郎
va 山本 一輝
vc 築地 杏里

violoncello
笹沼 樹

violin
周防 亮介

violoncello
佐山 裕樹

viola
中 恵菜

viola
田原 綾子

piano
兼重 稔宏

violin
小川 恭子

Toppan Hall 23rd Anniversary Concert

トッパンホール 23周年 バースデーコンサート
新ウィーン楽派への軌跡

10/1
2023 [日]

16:00開演 トッパンホール

Sunday, 1 October 2023 16:00 TOPPAN HALL ※終演は19時頃を予定しております。

全席指定 5,500円 / U-25 2,500円

発売
6月14日(水)
[会員]
6月10日(土)

主催：トッパンホール

特別協賛：安藤ハザマ

Toppan Hall 23rd Anniversary Concert

トッパンホール 23周年 バースデーコンサート

新ウィーン楽派への軌跡

新シーズンの開幕コンサートとなることが多い10月1日のバースデーコンサートは、これまでハーゲン・クアルテットやフォーレ四重奏団、ジャン＝クロード・ペヌティエ、ピーター・ウィスペルウェイら、トッパンホールの評価を共に高めてきてくれたゆかり深い世界のトップアーティストやアンサンブルと、プログラムを議論、吟味しながら作ってくることが通例だった。が、今年は少し趣向を変え、近年充実極まりない豊かな音楽の時間をトッパンホールで育ててきた日本の若手アーティスト達と作ってみたいと考えた。

今年4月に大きなチャレンジをしたトッパンホールアンサンブル弦楽四重奏の延長線上のプログラムを展開したかったことがその一番大きな要因だ。日本では得てしてドイツとオーストリアの音楽を一括りにして捉える傾向があるが、ウィーンにいと、ドイツよりも旧東欧圏であるハンガリー、チェコ、ルーマニアといった国々(ドイツもバイエルン州など南はここに含まれるか)との親和性の方がはるかに高いことを痛感する。そんなローカリティも近年のグローバル化ですっかり影を潜めつつあるが、クラシック音楽の歴史と誕生の系譜を辿っていくと、シュテファン・ツヴァイクを持ち出すまでもなく、音楽はもとより長らくヨーロッパの芸術文化の中核であったウィーンの中で起こった変遷には殊更眼を向けざるを得ない。そこで4月のトッパンホールアンサンブルに続き、シューベルトから

新ウィーン楽派への自然なる移行と発展の系譜を日本の優れた若手演奏家と共に辿ってみたい。

プログラムは、シューベルトの《ピアノ三重奏曲第1番》で幕を開け、弦楽四重奏曲《死と乙女》へと続く。肩肘張らないシューベルトのインティメットな音楽と、ベートーヴェンや当時の詩人達にインスパイアされたであろう劇性をもった、それぞれのジャンル屈指の名曲だ。《死と乙女》の後には、4月に演奏した最後の《弦楽四重奏曲ト長調》が作曲され、その先には後期ロマン派や新ウィーン楽派の世界が拓け来る。ベルクとシェーンベルクの斬新で美しく、どこか退廃的でもある世紀末ウィーンの美はすぐそこだ。起承転結の「転」の部分には、ブラームス最晩年のピアノ作品を置いた。本当は《クラリネット三重奏曲》や《ヴィオラ・ソナタ》を配す誘惑にも駆られたが、それはさすがにzu viel (too much) というものであろう。

メンバーは、日本の精鋭の中でもトッパンホールでじっくり音楽づくりに携わってきた面々から厳選した。加えて急成長中のクアルテット・インテグラが駆けつけてくれるのも楽しみだ。日本の、世界の音楽シーンをこれから切り拓き担っていくであろう若手の精鋭達による力が入ったとびっきり思い入れのある公演をぜひお聴きください。

プログラミング・ディレクター
西巻正史

シューベルトから世紀末ウィーンへ——室内楽の奥義を極める一夜限りの宴!

トッパンホールWEBチケット www.toppanhall.com
トッパンホールチケットセンター 03-5840-2222
チケットぴあ t.pia.jp [Pコード 242-896] / イープラス eplus.jp
ローソンチケット l-tike.com [Lコード 35494]

会員優待割引およびセット券は、「トッパンホールWEBチケット」「トッパンホールチケットセンター」でお申し込み頂けます。
*U-25券(席の限定有)は、トッパンホールチケットセンターで販売いたします。*未就学児のご入場はお断りいたします。
*託児サービス【要予約・有料】:公演日1週間前までにイベント託児・マザーズ 0120-788-222
[10:00~12:00, 13:00~17:00(土日祝休み)]へお申し込みください。
※やむをえず、曲目・出演者などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。
※開場は開演の30分前となります。

交通のご案内

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分
飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分
後楽園駅 地下鉄丸の内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
都営バス [上69] [飯64] [大曲]または「東五軒町」下車徒歩約3分
※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

トッパンホール 〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515
www.toppanhall.com

泣いたり、笑ったり、
感動する時間が
必要だと思う。

♪その「ドキドキ」が、品質です♪

(安藤ハザマも建設に携わったトッパンホールで体験してください。)



 安藤ハザマ

株式会社 安藤・間

東京都港区東新橋一丁目9番1号
TEL: 03-3575-6001 (代表)
<https://www.ad-hzma.co.jp/>